

2020年6月23日

最近今回のコロナ騒ぎの対応についていろいろ検証が行われている。われらのボンクラ首相とボンクラ専門家委員会の面々はこうした検証をまじめにやっているのか心配である。私もこの期に一つだけぜひ検証の項目に入れていただきたいと思っていることがあるので、述べておく。なかなか意見を言う場がないので自分のホームページに示すことにした。気が付いた方で、今回の出来事の検証を行っている方がいたらぜひ次のことを検証項目に入れていただきたい。

コロナ騒ぎの最初も頃、クルーズ船ダイヤモンドプリンセスの集団感染の対応についてだ。この船の感染者は最初の感染者が出てから毎日のように10人、20人と感染者が出続けた。当時この感染者が立て続けに出たことについて乗客、乗員を部屋に隔離して感染拡大を防いでいる、と言っているにも関わらず毎日のように感染者が出続けた。これをなんでだろうと疑う人がいなかったのだろうか？ 挙句の果て後から乗ってきた検閲官や記録者等からも感染者が出る始末。後から乗り込んだものなど十分に感染対応をしているはずなのに。私はこの時、エアコンを疑った。こうした大規模施設のエアコンは普通、室内循環型のエアコンとなっており、省エネのため温まった室内の空気の温度が下がらないように加熱して循環させているものと思われる。100%、外の空気を入れて換気していないのではないかと思う。これでは感染者の部屋の空気を取り込んで、感染していない人の部屋にも汚染空気をおくりこんでいるようなものだ。コロナウイルスは空気感染しないと当初言われていたが、すぐにエアロゾルとなって空气中に存在すると長時間空気に漂うことも示唆されていた。こうしたことで暖房のため絶えずエアコン稼働していたならば、新たな感染者が毎日のように出てもおかしくないのではと思う。船内で執務していて、特に感染している治具に触れることがなくても感染する。中国武漢でもあるホテルはエアコンを止めて各部屋に個別に暖房を配置したという。こうしたことを再検証してほしい。当時のエアコンの循環が100%外気を吸い込んで暖房していたのだろうか？ この辺りを今十分に検証してほしい。今無症状感染者をホテルに隔離するとしているが、エアコンを改善しない限り、どこかの保菌者の呼気がすべての部屋の拡散されている状況だろう。煙草を吸う保菌者がいればエアロゾルより多量のウイルスが拡散されるのではないかと思う。第2波の感染が拡大する前に、こうしたエアコンについても安全性を検証すべきではないかと思う、ここに示した。今の政府のボンクラ専門委員では基礎研究者ばかりがいて、こうしたことに気が付かないのではないだろうか？ 現場関係者を入れてもっと検証すべきかと思う。先ほどの武漢の状況など全く政府関係者やマスコミからは聞こえてこない。マスコミが要をなさないのが日本の現状だ。ただただ政府の方だけを見て、現場を見てない。中国の状況など中国政府が発表することなど信じられないのだから、やはり大手の情報集主力に期待したいところだが、現場を見ない。少し言い過ぎかもしれないが！ 第2波に備えるためのこれまでの対応の検証なのだから。もっと謙虚にならねばならないだろう。期待している。